



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 株式会社 J-MAX 上場取引所 東・名  
コード番号 3422 URL <https://www.jp-jmax.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山崎 英次  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 棚橋 哲郎 (TEL) 0584-48-2832  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	36,394	7.5	1,134	—	614	—	825	—
2025年3月期第3四半期	33,846	△14.1	△514	—	△815	—	△971	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △296百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 △544百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	71.92	—
2025年3月期第3四半期	△84.80	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	57,525	19,215	30.5
2025年3月期	55,724	19,609	32.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 17,552百万円 2025年3月期 17,943百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
2026年3月期	—	2.00	—		
2026年3月期(予想)				2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	4.0	1,500	—	800	—	850	—	74.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社 (社名) 福建丸順新能源汽车科技有  
限公司、除外 1社 (社名) インディアナ・  
マルジュン社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	11,857,200株	2025年3月期	11,857,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	377,289株	2025年3月期	389,389株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	11,472,983株	2025年3月期3Q	11,462,521株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、一部地域においては足踏み状態となり、先行きについての不透明感がみられるものの、全体としては緩やかな回復基調となりました。

米国では通商政策を巡る不透明感や、高金利水準の継続、雇用環境改善の減速等、潜在的な下振れリスクを抱えつつも、個人消費の底堅さを背景に景気は堅調に推移いたしました。

また、中国をはじめとするアジア新興国では、世界的な金融引締め長期化や台湾海峡問題、米中対立の長期化等、地政学リスクの継続といった不確実性を抱えつつも、政策支援効果による内需の下支え等により、緩やかな回復基調を維持いたしました。

日本では物価上昇の継続や将来不安を背景とした消費者の節約志向が根強いものの、雇用・所得環境の改善が後押しする形で、内需は緩やかな持ち直しとなりました。

当社グループが属する自動車業界においては、日本では、国内需要は底堅く推移しているものの、輸出環境や半導体をはじめとする主要部品の供給制約等による不透明感、及び人件費や物流費の上昇傾向等により、依然厳しい状況が続いております。

タイでは、国内販売は電気自動車やハイブリッド車を中心に6ヶ月連続でプラス成長を記録する等、回復の兆しを見せつつも、輸出向け需要の減少や欧米向け輸出における環境・安全規制強化の影響により、総生産台数は前年同月比マイナス傾向で推移しております。

中国では国内販売・生産台数共に前年同期比で堅調に増加しており、特にNEV（新エネルギー車）は市場成長を牽引しております。NEVの販売・生産台数は9月に過去最高を更新し市場シェアを拡大する等、世界の電動車市場における中国ブランドの存在感を強める一方、日系自動車メーカーの多くは競争環境の変化に対応するも、市場シェアは減少傾向にあり、依然厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中長期5か年計画の3年目として、既存事業の強化及び電動化領域を中心とする新事業の創出に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は36,394百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業利益は1,134百万円（前年同四半期は514百万円の営業損失）、経常利益は614百万円（前年同四半期は815百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、825百万円（前年同四半期は971百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお当第3四半期連結累計期間の期首より、報告セグメントを従来の「J-MAX」、「タイ」、「広州」、「武漢」の区分から、「日本」、「タイ」、「中国」に変更しております。これに伴い前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成したものを開示しております。

## (日本)

日本においては、金型設備等の販売は増加しましたが、主要客先の減産影響が大きく、売上高は減少いたしました。また、労務費圧縮による固定費削減等、継続的な取組みは進めているものの、客先減産及び金融関連費用等の増加により、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は14,277百万円（前年同四半期比1.9%減）、経常利益は612百万円（前年同四半期比11.0%減）となりました。

## (タイ)

タイにおいては、主要客先向け自動車部品及び汎用エンジン部品等の生産が減少したこと等により、売上高は減少しましたが、前期までに実施した要員適正化及び金型事業の縮小等の構造改革の継続効果に加え、合理化施策の推進に伴う経費、販管費等の削減により、利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は4,460百万円（前年同四半期比1.5%減）、経常利益は95百万円（前年同四半期は103百万円の経常損失）となりました。

## (中国)

中国においては、日系OEMの減産は依然回復の兆しは見えないものの、車載電池メーカー向け電動化部品は大幅増産が継続しているほか、前期までに実施した構造改革による利益体質の向上と継続的な原価低減施策の取組みにより、売上高及び利益ともに大幅に増加いたしました。

以上の結果、売上高は17,952百万円（前年同四半期比18.7%増）、経常利益は246百万円（前年同四半期は1,064百万円の経常損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、57,525百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,801百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金等の流動資産が2,166百万円増加、有形固定資産が444百万円減少したこと等が要因であります。

負債総額は38,310百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2,195百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2,449百万円増加、短期借入金が1,812百万円減少、長期借入金が999百万円増加、リース債務が946百万円増加したこと等が要因であります。

純資産は19,215百万円となり、前連結会計年度末と比較し、394百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が778百万円増加、為替換算調整勘定が1,103百万円減少したこと等が要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,565	5,479
受取手形及び売掛金	12,154	14,158
商品及び製品	520	449
仕掛品	2,900	2,627
原材料及び貯蔵品	1,338	1,549
その他	2,023	3,400
貸倒引当金	△121	△117
流動資産合計	25,380	27,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,780	8,290
機械装置及び運搬具（純額）	8,137	8,262
工具、器具及び備品（純額）	5,247	4,575
土地	1,683	1,681
リース資産（純額）	1,225	2,036
建設仮勘定	6,804	3,588
有形固定資産合計	28,879	28,434
無形固定資産	325	255
投資その他の資産		
その他	1,149	1,299
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	1,138	1,288
固定資産合計	30,343	29,978
資産合計	55,724	57,525

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,250	8,700
短期借入金	12,601	10,788
1年内返済予定の長期借入金	1,992	1,519
リース債務	401	473
未払法人税等	22	139
賞与引当金	159	269
その他	3,468	3,416
流動負債合計	24,895	25,307
固定負債		
社債	2,500	2,500
長期借入金	6,753	7,753
リース債務	830	1,704
退職給付に係る負債	826	763
役員株式給付引当金	29	26
資産除去債務	251	254
その他	28	0
固定負債合計	11,220	13,003
負債合計	36,115	38,310
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,950	1,950
資本剰余金	2,225	2,051
利益剰余金	7,700	8,478
自己株式	△282	△195
株主資本合計	11,593	12,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	103
為替換算調整勘定	6,078	4,975
退職給付に係る調整累計額	209	188
その他の包括利益累計額合計	6,349	5,267
非支配株主持分	1,665	1,662
純資産合計	19,609	19,215
負債純資産合計	55,724	57,525

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	33,846	36,394
売上原価	32,025	32,812
売上総利益	1,820	3,581
販売費及び一般管理費	2,335	2,446
営業利益又は営業損失(△)	△514	1,134
営業外収益		
受取利息	28	20
受取配当金	11	11
為替差益	56	62
その他	21	30
営業外収益合計	118	124
営業外費用		
支払利息	323	451
固定資産除却損	0	19
支払手数料	-	97
その他	95	75
営業外費用合計	419	643
経常利益又は経常損失(△)	△815	614
特別利益		
子会社株式売却益	2,114	-
固定資産売却益	21	2
投資有価証券売却益	-	0
子会社清算益	-	453
特別利益合計	2,136	456
特別損失		
事業構造改善費用	163	64
固定資産売却損	294	1
固定資産廃棄損	311	-
減損損失	1,426	-
災害による損失	7	-
特別退職金	333	18
その他	9	-
特別損失合計	2,546	84
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,225	986
法人税等	△141	135
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,084	850
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△112	25
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△971	825



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△1,084	850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	42
為替換算調整勘定	566	△1,167
退職給付に係る調整額	-	△21
その他の包括利益合計	540	△1,147
四半期包括利益	△544	△296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△488	△257
非支配株主に係る四半期包括利益	△56	△38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(役員向け株式交付信託)

当社は、2025年6月20日開催の第67回定時株主総会決議に基づき、当社取締役（社外取締役及び非業務執行取締役を除く。）及び当社と委任契約を締結している執行役員（以下総称して「取締役等」という。）を対象とする株式報酬制度（以下「本制度」という。）を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下「本信託」という。）が当社株式を取得し、当社が各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役等に対して交付される、という株式報酬制度です。

なお、取締役等が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時です。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度61百万円、99,100株、当第3四半期連結会計期間125百万円、285,300株であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	タイ	中国	
売上高				
プレス成型部品等	13,802	4,507	14,616	32,926
金型等	407	—	500	908
その他	12	—	—	12
顧客との契約から生じる収益	14,221	4,507	15,116	33,846
外部顧客への売上高	14,221	4,507	15,116	33,846
セグメント間の内部売上高 又は振替高	334	21	7	363
計	14,556	4,528	15,124	34,209
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	688	△103	△1,064	△480

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

中間連結会計期間において、連結子会社でありました広州恒邦倉儲有限公司は、株式を売却したことにより連結範囲から除外しております。これにより前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は、「中国」セグメントにおいて240百万円減少しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△480
セグメント間取引消去	19
子会社配当金	△380
その他の調整額	25
四半期連結損益計算書の経常損失	△815

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	タイ	中国	
減損損失	—	—	1,426	1,426

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	タイ	中国	
売上高				
プレス成型部品等	12,947	4,437	17,234	34,619
金型等	1,067	—	702	1,769
その他	5	—	—	5
顧客との契約から生じる収益	14,019	4,437	17,937	36,394
外部顧客への売上高	14,019	4,437	17,937	36,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	258	23	15	296
計	14,277	4,460	17,952	36,690
セグメント利益	612	95	246	954

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	954
セグメント間取引消去	△15
子会社配当金	△346
その他の調整額	22
四半期連結損益計算書の経常利益	614

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 5. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間の期首より、報告セグメントを従来の「J-MAX」、「タイ」、「広州」、「武漢」の区分から、「日本」、「タイ」、「中国」に変更しております。これに伴い前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成したものを開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	3,295 百万円	2,830 百万円

(重要な後発事象)

(子会社の増資)

当社は、2025年12月15日開催の取締役会において、当社連結子会社である福建丸順新能源汽车科技有限公司に対して増資を行うことを決議し、2026年1月20日付で払込が完了しました。

(1) 増資の目的

当社グループの海外市場強化に向け、中国の生産拠点における設備投資等に充当するものです。

(2) 増資の概要

①会社名 福建丸順新能源汽车科技有限公司

②住所 中華人民共和国

福建省福州市羅源县松山镇鶴南路1号

③事業内容 自動車部品の製造・販売

④増資金額 50百万元 (1,144百万円)

1元=22.89円で換算

⑤増資後の資本金 187百万元 (4,083百万円)

⑥増資後のグループ出資比率 100.0% (当社66.8%、広州丸順汽车配件有限公司33.2%)